

やっときゃよかった、やってよかった防災式

◆シリーズ「あなたならどうする？」地震編パート7

内閣府「中央防災会議」が、巨大地震への対策をまとめ、国の防災基本計画が、食料や飲料水などの家庭備蓄を3日間分の目安から、**1週間分以上**に拡大し地域で自活する備えが必要とした。

さて、今回は「備蓄食料」について考えましたが、今回は、過去の被災地が抱えた深刻な課題の一つとして「トイレ問題」を考えてみましょう。

過去の災害では、トイレを我慢するために飲食を控え、血栓症を引き起こしたり、栄養不良から抵抗力が落ちインフルエンザにかかる事例があった。衛生面の悪化により感染症を引き起こすこともあり、非常時のトイレ対策は、飲料水や食料の確保と同等に重要な問題と言えます。水道や電気等のライフラインが断たれた生活では、水洗トイレは使えなくなる。そのため、排せつ物はできるだけ水を使わずに処理しなければならない。しかし実際は、避難所や公園のトイレは汚物の山、悪臭、長蛇の列となり、仮設トイレが設置されるまでにはある程度の時間がかかります。

東日本大震災では、下水処理施設が120ヶ所で被災し、48ヶ所が稼働停止。3ヶ月経っても18ヶ所が停止したまま。下水管は11都県の総延長約66,100kmの内、被害管路は約960kmにおよんだ。

過去の災害時トイレ研究から以下のことが判明！

- ① 仮設トイレの設置までは最低3日以上かかる
- ② バキューム車不足で回収が遅れる
- ③ 仮設トイレは60人に1基が必要
- ④ トイレが不安で水分摂取を控えた人が多い
- ⑤ 消毒薬とウエットティッシュの必要性
- ⑥ 身体が不自由な人の和式トイレが不便
- ⑦ 生理用品の不足
- ⑧ 使用時のルールやマナーが守られない
- ⑨ 清掃作業を一部の人しかやらない

内閣府による南海トラフ巨大地震の被害想定	
全国の様相	下水道(トイレ・雑排水)
【発災直後】	9割が利用できなくなる
利用困難	約2,860万人～約3,210万人
【1週間後】	4割が利用できないまま
利用困難	約140万人～約230万人

また、耐震化が進み自宅での滞在が可能になったにも関わらず、停電で自宅のトイレが使用不可に。それだけのことで、快適なはずの自宅で生活が成り立たなくなる等、避難しなくても良い人が避難するという新しい課題もある。

今回の防災式は『**トイレ対策をすること**』を大前提として考えていきましょう。

【対策1】被災後には、自宅トイレが使用可能かどうかを確認する作業の必要性

戸建てなら自宅周りの排水設備確認だけだが、マンション等集合住宅は、上階からの縦系列排水管を確認完了するまで、排水の使用制限を徹底しなければならない。ところが、これにはルールとマナー違反問題が発生し、大変な問題が発生すると予測される。

【対策2】地域全体で非常用トイレを確保する必要性
地域全体でトイレ問題を災害発生までに話し合い、予算を組み、トイレ確保と設置場所の検討をしておく必要がある。しかし、60人に1基と考えるならば、地域で十分な確保は不可能。仮設マンホールトイレ等を設置した場合の排水用水確保も重要となる。設置しても流すことができなければ、排便が山盛りになり、たちまち使用不可となる。また、仮設トイレの使用時マナーやトイレ清掃方法、清掃の役割分担、衛生面の対策等、多くの課題が考えられる。

【対策3】自宅でトイレの確保を考えておく必要性
家族という小さな単位の「ルールとマナー」は、一番簡単だが、他者に迷惑とならないような方法を考える。それでは「水で流さないで処理する方法」を考えよう。ネットで「簡易(自前)トイレ」を検索すると多くの商品が見つかる。基本的な機能はほぼ共通で、ポリ袋を便器にセットし、用を足し、凝固剤をふりかけて水分をゼリー状に固め、袋の口を縛ってゴミとして処分する。それなら、自分で作れるのではないだろうか？

イザというときの為に「自前トイレ」を覚えよう！

やはり、自宅のトイレが一番快適なはず。トイレの水が流れなくても、自宅のトイレ空間を利用しましょう。

- ① 洋式便器の水を排水する。灯油等を給油するときに使うポンプがあれば簡単。
- ② ポリ袋を便器に、二重にもう一枚被せる。その中に丸めた新聞紙を入れる。
- ③ 排便後、凝固消臭剤(マイルット)等、無ければハイター等の塩素系漂白剤等を少しふりかけた後に、空気を抜きながらポリ袋の口を閉じます。
- ④ 使用済みのポリ袋はゴミ袋にまとめ入れます。一般ゴミと違いがわかるように保管場所を分けたり、ゴミ袋の表面に明記する。ニオイが出るので屋外に集積する。

1 二重にポリ袋をかぶせませす



2 排便後に凝固剤または塩素系漂白剤をふりかけます



3 排便後にポリ袋を取り出し開口部をしっかりと結びます



4 処理袋に排便後ポリ袋入れ袋ごと可燃ゴミとして廃棄する



処理袋は自治体指定のゴミ袋を使用してください

今回の防災式「**トイレ問題を本気で考えよう!**」